

# 後継者講習会が開催

北海道教区報

第534号

発行所

天理教北海道教務支庁

札幌市中央区南8条西11丁目

電話 011(561)-1148

FAX 011(561)-1190

E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社

心の向きを変えれば、  
人生はもっと、  
わくわくする。

<後継者講習会ポスターより>

25回に分けて、各直属系統を通じて、受講が促されています。

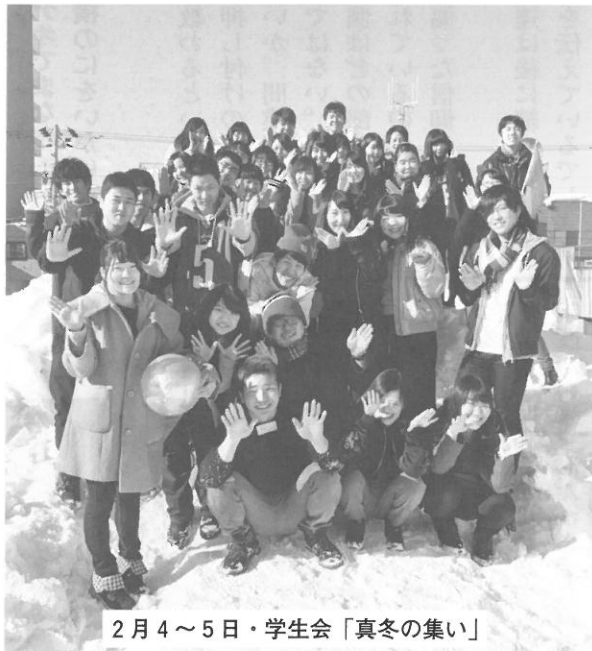
受講対象は20歳から40歳までの、教会長夫妻・教会子弟・布教所信仰家庭子弟等、道の後継者。

おちばで過ごす3日間は、慌ただしい日常から離れて心の大掃除。

きっと元気が湧いてくるはず。

※第1次(8/28・月～8/30・水)から、第25次(翌年3/22・水～3/24・土)迄、日程が発表されています。25回の内、土日含むのは17回。直属を通じて日程が通知されていると思いますが、一人でも多くの参加へ、声かけに心がけましょう。

<開催日：立教180年8月末～181年3月末>



2月4～5日・学生会「真冬の集い」

## 2月行事 写真スナップ



2月5日・しらゆき会「こかん様に続く会」上下

# 立教180年4月29日(土・祝) 全教一斉ひのきしんデー

遠く離れたようぼく家庭にも参加カードでお知らせしましょう。

全国の会場は3月の天理時報に順次掲載されます。(会場によって日程が異なる場合があります)

北海道教区のホームページ <<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>> 教区報がご覧頂けます。

天理教を紹介します



# 天理教基礎講座

## TENRIKYO BASICS COURSE

平成29年  
北海道会場開催日

- ☆3月4日(土) 教務支庁会場
- ☆5月7日(日) 函館支部会場
- ☆5月21日(日) 札幌白豊支部会場
- ☆6月3日(土) 教務支庁会場
- ☆6月18日(日) 千恵広支部会場
- ☆7月16日(日) 宗谷支部会場
- ☆8月21日(月) 教務支庁会場
- ☆9月24日(日) 釧根支部会場
- ☆10月1日(日) 天龍支部会場
- ☆10月29日(日) 倶知安支部会場
- ☆12月3日(日) 教務支庁会場

★教務支庁会場以外の開講時間、施設等は決定次第、支部を通してご案内致します

★教務支庁会場  
開講時間  
13時30分～15時

天理教について、わかりやすいお話とビデオでまなぶ「目から鱗(うろこ)」の基礎講座を、縦の伝道に、横のいをいがけに、大いにご利用下さい。

### 基礎講座北海道会場 新事務局長紹介



藤野 充普氏  
阿羽・阿北

〈新任のご挨拶〉

「天理教とは何ですか」  
そんな素朴な質問に、自らも「何だろう」と考えさせられることがあります。

自分では信仰していると信じている。

おつとめをし、病む人にはおさづけを取り次ぐ。

時には見知らぬ家へにをいがけに歩き、街角で、思うことや感じることを人々に問いかける。  
日々「ひのきしん」の名のもとに様々な作業を行う。

が「果たして」がある。

「天理教とは 何か」

・信仰家庭に生まれ育ちながら、信仰のごく一部分のみを親で「お道」への偏見がなくなはいだろうか。

・信仰を教わるというのは、教える側の押し付けの部分が強い場合は無い。間違っていないが、全てではない。

・教わる側はどの部分のことを教えてくれているのかを知らなければ、偏った信仰になりかねません。

・道の先達は後に続く者に根本のところを伝えていくでしょう。つつい「枝先」のことに言及しすぎてはいないでしょうか。

基礎講座は天理教を「体系(基本)的」に紹介する講座です。「目から鱗」がそこにあります。そして「おちばへ帰ろう」そんな種を心に植え付けてくれます。

教祖へ良き報告とご褒美を頂戴できる。「よう帰ってきたなあ」と。道産子よろほくの切望するところでもあります。

基礎講座北海道会場は「おちばへの入り口」をキャッチフレーズに教会やおたすけをする方の添乗員となつて、人をおちばへご案内することを目指します。

### 歴史ある、天理教の 献血活動を推進しよう！



天理教と、献血活動とは深いつながりがあります。

まず、昭和39年に現在の献血制度が出来ましたが、それ以前は、戦中・戦後を通し、売血というか、血を売って、それを買って、輸血をするという状態でした。それから一般の健康な方から、善意の血液をもらって、輸血をさせて頂くという現在の献血制度が出来たのです。

翌年、天理大学の学生が「献血も、立派なおたすけである」との位置づけで、早くから献血活動に取り組み始めました。その3年後、天理教修養科で、天理大学生がしている「献血はおたすけ」という活動を、修養科でも日程に入れて、取り組むこととなりました。

★宗教団体では初めて  
「昭和天皇賞」を送られる  
平成8年、今から21年も前に

なりませんが、第32回献血運動全国大会で、献血活動に多大な寄与をした団体に贈られる「昭和天皇賞」に、天理教が選ばれました。宗教団体では唯一で、他は、トヨタとか、キャンオン他、大企業によるもの。

天理教からは前真柱様がお出席なされて、授与されました。  
★最近、若者の献血が非常に減っている・献血離れが進んでいます。

今の献血の主力は50代、60代だそう、数年後には手術するときに、血液が足りないという事態になるのを危惧して、制度自体が成り立たなくなると言われています。

★献血推進研修会へのお誘い  
そこで、理解の深い天理教の中でも、若い方に献血を推進し進めて頂きたいと、研修会が持たれます。

日時 3月26日祭典後の  
13時半～16時まで  
会場 南右2棟陽気ホール

※若い人ばかりではなく、年配の方も、新たに、献血は大きなおたすけであるという認識を高めて頂く契機にして頂いて、献血推進研修会を盛り上げて頂きたいと思っております。  
伊藤逸雄福祉厚生部長(談)

この世に争いは絶えたことはない。まだ人間の頭脳が発達していない時代は、爆弾も速い乗り物もなかったので、被害を受ける人は少なかった。

しかし今日では、誰でも簡単に武器を手に入れることが出来るテロが横行し、自分の力で防ぎようがない時代となった。

先頃見たテレビ番組の中で、外国の或るノーベル賞受賞者が「今日、イスラム国を始め、世界のテロ組織に入る者は、貧困だけが原因ではなく教育が欠けているのが真の原因である。」と言っていたが私も本当だと思つた。

たしかに貧困は裕福より犯罪は多い。貧に窮すると人の道の教育も出来なく、自分の欲望むき出しとなる。

しかし今日富める国でも犯罪は増え、しかも凶悪なものが多いと聞く。それは自分の欲望を追求して繁栄した結果である。そこには真の人の道の教育がなされていない姿がある。イスラム国のテロ集団に入っている人々は、ほとんど本来の

イスラム教の教えを知らないと言われている。正しい教育を受けていない人が、都合よく指導者に洗脳されているようである。

教育といえば、人々は科学的に知識や技術等を身につける事のみにも重きをおいているのがほとんどである。しかし人間社会はそれ以前に、心の教育を受け

『教理随想十三』

針と糸

木岡 昭

ることが大切なことである。

人は一人で生きていく訳にはいかない。人間存在の社会性は本質的に必然のものである。人々に助けられて生活し、自分も人のために働いて生活する。

それでない地球は削減する。そして、そこには心持ちの基礎が出来ていなければならぬ。その基礎とは、同じ人間と

しての自覚、生かされて生きていく自覚、そして生の目的を自覚することである。

この基礎は人間は不完全であるから創造された神の意志に添う以外つれない。

ある先輩から「心の教育」をなすために最も大切な事は、教える人が針で、教わる人が糸の関係であると云われた。針が曲がれば糸も曲がる。どんなに教えを説いても説く人の信念と正しさ、そして心から本気で思つて教えないければ伝わらない。人は教える人の背中を見て導かれるものであると。

私は感銘した。針と糸、これは親と子の関係に最もあてはまる。信仰者はこれこそが「たすかる人生」だと信じたら、心をこめて子供のために目先の損得に惑わされず勧めるべきである。

たすかった人生を送ってもらいたい、その信念に子供はついてくる。これが本当の「たすける心」ではなからうか。そして私はその心で私自身がたすけられてきた。

一円玉募金で、AED復活!

約8年前に一円募金により設置されたAED器(同時に血圧計も設置)、この度募金からメンテナンス致しました。これまで、教会、支部を通して、一円玉募金として、支部活動で縁のある施設に、寄付を寄せている。塵も積もれば山となるのこ



とわざ通り、一円玉が車いすや催事用のテントなどになって、施設の大きな喜びになっていきます。教区報で取り上げたこの10年間の記録では。

●立教171年11月、余市支部、仁木福祉会、グループホームあまんとす・2カ所に10万ずつ。

●立教172年8月、教務支庁、赤十字血液センター・電光掲示板  
●立教175年5月、空知支部、美唄市デイサービスセンター・車いす体重計。

●立教176年7月、網走支部、老人ホーム2カ所・10万ずつ。  
●立教178年8月、天塩支部、老人ホーム、テント。  
今後とも支部の福祉担当者の方を通して、一円玉募金に協力をお願い致します。

天理時報・口座引き落としキャンペーン継続中

道友社では、全国的に天理時報の手配りを取り組み始めてから10年目となり、その手配り率も99.99%と上がってきて、その広がりの上には、教区、支部、担当者、手配り拠点長、ひのきしん者の皆様の丹精のお蔭と喜んでいる。

は、手配りひのきしん者の方々におおげさなご褒美をして頂いて、お礼とお褒めをする行事を作りた

と喜んでいる。そこで本年秋の大祭の折にまた、年間購読料が、ゆうちょ銀行限定で、「自動引き落とし契約」をすると、昨年までと変わらぬ購読料となる(3,960円)特別キャンペーンを継続しています。教会取り扱いのみならず、個人購読、でも利用できます。



教区学生会「真冬の集い」開催

春学に向けて  
躍進を誓う

恒例となった教区学生会主催の「真冬の集い」が、2月4日、5日の両日に亘り教務支庁で開催された。学生会の1大イベント「立教180年春の学生おぢばがえり」に向け、春学の良さを知ってもらい、一人でも多くの会員を誘っておぢばに帰ろうと、昨年の春学DVDの鑑賞や、グループに分かれて「おぢばがえりの大切さ」や「学生会とは？」等についてねりあいを実施。また屋内外でレクリエーションを行い、夜には「鍋パーティ」で

親交を深めた。参加した会員たちには、たくさん笑顔がみられ、春学への躍進を誓い合った。参加者 40名



「雅楽講習会のお知らせ」

平成29年 5月3日(水) 午後1時~

4日(木) 午後2時まで

小中学生が参加しやすい5月の連休です。

【会場】 北海道教務支庁

【対象及び課題曲】

- ・初級者 平調「越殿楽」「五常楽急」「陪臚」
- ・中級者 盤渉調「越殿楽」「白柱」「竹林楽」

講師は道内上級講師(6名程度)

【定員】 各管の初級、中級者それぞれ6~7名

【受講費】 3,000円(宿泊、食費を含む)

小学生・中学生...1,500円

【申込み】 4月15日まで 教務支庁雅楽会事務局 (FAX) 011-561-1190

担当: 古川慎司 電話 0144-67-8485 (FAX兼) 携帯 070-1495-4122

【主催】 天理教北海道雅楽会(教務支庁内)

初心者  
大歓迎

災救隊冬季訓練報告

南空知支部隊

三笠市社会福祉協議会の協力の元、1月30~31日、三笠市内にて、今年も訓練を兼ねて除排雪作業をさせて頂きました。例年に比べて雪の量は少な目でし



たが、軒数的には例年同様の作業でした。

障害者のお宅や、施設でしたので、「室内が明るくなりました」、「安心しました」との言葉をいただきました。

社会福祉協議会の方から、来年以降もお願いしますとお言葉をいただきました。

30日、8軒実施。作業人数16名、1ヶ所(共同作業施設)作業人数15名。作業人数 延べ31名。婦人会ひのきしん12名。



北海道教務支庁日誌抄

(12月20日~2月19日)

12月	20日	布教の家 寮祭	・中島キミ子様 1月4日出直 (102歳)
	26日	本部月次祭選擇式	高之原分教会 前会長 (十勝支部)
1月	1日	元旦祭	・瘧師富太郎様 1月5日出直 (72歳)
	4日	御用始め	下頓別分教会 会長 (宗谷支部)
	6日	任命願書発送	・田中正作様 1月20日出直 (91歳)
	7日	たすけ推進会議	代野道分教会 前会長 (十勝支部)
	10日	事情願書発送	
	14~15日	学生会 例会	
2月	1日	たすけ推進会議	
	2日	支部長会議	
	4日	任命願書発送	
	5日	学生会 「真冬の集い」 少年会支部委員長会議	
	5日	しらすゆき会	
	10日	事情願書発送	
	19日	教区報編集会議	

訃報

- ・川口辰巳様 11月1日出直 (96歳) 巖望分教会 前会長 (紋別支部)
- ・大平 勝意様 11月21日出直 (81歳) 上旭分教会 会長 (旭川支部)
- ・嶺 弘道様 12月4日出直 (78歳) 北峰分教会会長配偶者(札幌北西支部)
- ・廣岡文彦様 1月2日出直 (91歳) 北実分教会 前会長 (空知支部)